〔学科目区分：アート／インクルーシブ〕

番号：学科目名	135	アートセラピー・インクルーシブ	6単位	通年
指導講師	西田 まや			
授業のテーマ	多様な人の感性に共感するアートセラピストに必要な知識を身につける。			
授業計画及び内容	インクルーシブとは‥障害の有無や国籍、年齢、性別などにかかわらず、お互いの違いを認め合い、ともに生きることを意味します。 特にアートの分野では、多様な個性を知ることは、個人としての感性も高まり表現力の豊かさにつながります。 本授業ではアートワークを通して学びを深めます。 ① アートワークでは心をオープンにして楽しみましょう ② 多様なアートや芸術表現の理解を深めましょう ③ アートや芸術表現・発達段階に合わせた道具や画材の選び方 ④ 作品鑑賞			
教材・参考書	参考資料があればその都度プリントを配布します。			
成績評価の方法	出席、学習姿勢と意欲などを総合的に評価します。			
履修上の指示事項	スケッチブック、色鉛筆、クレヨンなど各自で用意して下さい。 汚れてもいい服装、エプロンなど（必要に応じて）			

〔学科目区分：幼児リトミック〕

番号：学科目名	136	こどもの発達と音楽・入門	4単位	通年
指導講師	松井 千恵子			
授業のテーマ	こどもの発達と音楽に焦点をあて、音楽療法、リトミック、音楽教室等、 こどもと音楽を通して関わる際に必要な知識を身につける。			
対象クライエント	こども(乳児から中学生までの障がい児・境界児・健常児)			
授業計画及び内容	こどもは、身体、心、運動機能、認知機能、社会性など、短期間に様々な面で発達していきます。 その発達のバランスが悪かったり、一部の発達が大きく遅れることが、 障がいや問題行動、生活していく上での課題につながることが多くあります。 一方で音楽は、こどもの発達に重要な様々な力(身体機能、コミュニケーション能力、社会性、想像力、創造力、感性など)を育むことができると言われています。 そこで本講では、音楽療法の理論をベースに、臨床発達心理学、幼児教育、保育、障がい児教育等、 様々な視点から、こどもの発達を学んでいきます。 豊富な事例も交えた授業を通してリトミック、ピアノ教師や音楽教室教師等、 広くこどもと音楽を通して関わる際に必要な知識と技術を身につけていきます。 ・こどもを対象とした音楽療法のプロセス ・こどもの発達と音楽 ・主な障がいについて ・現代のこどもを取り巻く環境と音楽文化			
教材・参考書	授業内で適宜配布･紹介			
成績評価の方法	出席状況、学習姿勢と意欲、レポートをもとに総合評価			
履修上の指示事項	こどもの発達と音楽-総合-と併せて履修すると併せて履修すると、より学びが深まります。 この授業のみの履修も可能です。			

〔学科目区分：幼児リトミック〕

番号:学科目名	137	こどもの発達と音楽・総合	４単位	通年
指導講師	松井 千恵子			
授業のテーマ	こどもの発達と音楽に焦点をあて、音楽療法、リトミック、音楽教室等、 こどもと音楽を通して関わる際に必要な様々な技術を実践的に身につける。			
対象クライエント	こども(乳児から中学生までの障がい児・境界児・健常児)			
授業計画及び内容	音楽は、こどもの心身の発達に大きな影響を及ぼすと言われています。 発達を促す音楽の力を最大限に活かすためには、多岐にわたる音楽分野に精通し、 数ある『ネタ』の中から臨機応変にプログラムを構成できることが必要となります。 本講では、講師がイギリスやポルトガルで学んだ育成プログラムをもとに、 こどもを対象とした音楽療法や音楽活動を実施する上で必要な『ネタ』を増やし、 音楽的能力、コミュニケーション能力、対象に対する理解等、様々な力を身につけていきます。 ・アイスブレイク(音楽活動の導入として、心身をほぐす方法) ・ボディーパーカッション(楽器を使用せず、身体のみで音楽を創る方法) ・即興演奏(ランダムに選ばれた音とリズムから、即興的にアンサンブルをおこなう方法) ・歌唱活動(楽譜の読めない参加者にもわかりやすく、歌唱活動を進めていく方法) ・編曲基礎(基礎的な打楽器リズムやコード進行で簡単なアンサンブルをおこなう方法) ・演技技術(音楽活動をリードしていく上で必要な発声や立ち居振る舞いの技術) ・MCやリーディング(音楽活動を進めていく上で必要な話術や展開方法) などなど			
教材･参考書	授業内で適宜配布･紹介			
成績評価の方法	出席状況、学習姿勢と意欲、レポートをもとに総合評価			
履修上の指示事項	各々の専門楽器を使用する場合があります／動きやすい服装でご参加ください 『こどもの発達と音楽』と併せて履修すると、より学びが深まります。この授業のみ履修も可能です。			

〔学科目区分：幼児リトミック〕 2025/6/3更新

番号：学科目名	138	幼児リトミック演習＆ＲＭＰ	8単位	通年
指導講師	葛岡 路子 / 髙梨 絵美子 / 堀川 由佳			
授業のテーマ	現場で教えることを頭に入れながら、実践的なカリキュラム作りと幼児リトミックのための簡単な伴奏法を身に付けます。			
授業計画及び内容	実際の教室で使われているカリキュラムを使って、リトミックの楽しさ、表現する事の大切さを体験していく。 カリキュラムの中にはストーリーがあり、歩く、走る、止まる、色んな花になる、強い風弱い風、鳥や動物、歌う、お花摘み、車にのる、というたくさんの活動をします。その一つひとつの動きには全ての意味があり、こども達は知らず知らずの間にテンポ、即時反応、模倣、表現、強弱、音楽の聞き分け、高低などの音楽的要素を学んでいます。 リトミックは身体全体を使って動くことにより、音楽を「体験する」ことから様々なことを学びます。そして音楽を心で聴き感じることにより、こども達の心と体を自由に解き放ってくれるメソードです。自由でのびのびとしたこども達を育むために、こども達が楽しみながら学べるカリキュラム作りを学びます。 ○季節に因んだカリキュラム ○卒業後、現場ですぐ使用できる自身のカリキュラムを作成し、表現する。 ○自分でストーリーを作ってカリキュラムを作成する。 ○歌を使ってカリキュラムを作成する。 ベビーリトミックの内容も織り込みます。リトミックを仕事として考えている方が対象の、実践的な授業です。 3名の講師で28回開催します。 ○葛岡先生：5/15.29　6/12.26　7/3　9/4.25　10/9.30　11/13.27　12/11　2026/1/29　2/5 ○髙梨先生：4/24　5/8　6/19　9/11　10/16　11/20　2026/1/15　1/22 ○堀川先生：5/22　7/10　9/18　10/23　12/4　2026/1/8 ※なお、髙梨先生は集中講座は現場実習の紹介で、7/6・12/7・2026/2/8の各日曜11：00～14：00、 リトミックワールド（5F)で開催します。8/31につきましては→13～16時に変更となりました。 幼児リトミックを学ばれている方は下記スケジュールで受講をおすすめします。 11～12時30分/乳幼児発達心理学/森平先生、13～16時/幼児リトミック演習＆RMP/髙梨先生			
教材・参考書				
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、クラスでの発表。			
履修上の指示事項	スケッチブック、クレヨン、のり、ハサミを持参してください。 ルームシューズと、動きやすい服装(スカートは不可)で参加して下さい。			

〔学科目区分：幼児リトミック〕

番号：学科目名	139	リトミック療育士育成演習	４単位	通年
指導講師	保科 香里			
授業のテーマ	幼児・若返りリトミック、音楽療法、楽器演奏と指導を包括した音楽伝道師のスペシャリストの養成講座です。			
授業計画及び内容	こどもたちが楽しく遊びながら音楽の諸要素を学ぶ中で、感情や情緒を育み、 創造力や表現力を学ぶための指導法やカリキュラム、小道具の紹介をするだけでなく、 実際に現場ですぐに使用できる自身のカリキュラムを作成して実践してもらい、 現場実習を通して資格取得後、すぐに現場に立てるリトミック療育士®の育成を目指します。 「初・中等部のためのリトミック」の授業を必ず受講することが、成績を出す条件となります。 ※リトミック療育士®は国立音楽院の商標登録です。資格取得された方には、]NPOラポールミュージックセラピーより仕事の斡旋をしております。			
教材・参考書				
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、クラスでの発表、出席率。「初・中等部のためのリトミック」を同時受講。			
履修上の指示事項	音楽療育を仕事として考えている方が対象の、実践的な授業です。			

〔学科目区分：幼児リトミック〕

2025/6/3更新

番号:学科目名	140	乳幼児発達心理学	２単位	集中講座
指導講師	森平 直子			
授業のテーマ	新生児期から入学前の幼児期までの子どもの心理面の発達の特徴を学ぶ。			
授業計画及び内容	子どもの教育、発達援助、子育て支援などを効果的に行う上で必要な基礎知識である、 子どもの心理面の発達について新生児期と幼児期を中心に学びます。 フロイト、エリクソン、ピアジェなどの心理学者の発達理論を参照し、実例を挙げながら解説します。 【開講予定日】 ~~2025年9月15日（祝）11：00-12：30/レクチャー1~~ 2025年8月31日（日）11：00～12：30/レクチャー ※6/3更新 2025年9月23日（火・祝）11：00-12：30/レクチャー1 ※9/15が8/30に変更になる可能性があり。変更の場合、5月以降に授業登録生に連絡をします。			
教材･参考書	プリントを配付する			
成績評価の方法	授業中に小レポートを書いてもらいます。			
履修上の指示事項				